

署名実施中



太陽光パネルの リサイクル義務化 を求めます！

2026 年 1 月 30 日まで

太陽光パネルが大量に破棄され、埋め立て処分される未来……

太陽光パネルは 100%リサイクル可能です。2030 年代前半に大量に捨てられる可能性があり、それまでにリサイクルの義務化が最も効果的な方法です。

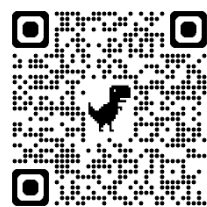
2025 年の通常国会でリサイクル義務化の法制化が目指されていましたが、リサイクル費用が製造者負担であることや埋め立て処分費用に比べて高額になることを理由に、太陽光パネルのリサイクル義務化を見直すと発表があり、危機感を抱いています。

全面義務化されないとリサイクルは広がらず、費用は高いままの悪循環に。

そんな未来を回避するために、義務化を求める署名に取り組みます。

〈署名の提出方法〉

1. 右側の署名用紙に記入し配達時に提出する
2. オンライン提出 オンライン署名はこちらから→→→→



〈署名活動の注意事項〉

- 1.「〃」「同」「同上」の記述は避け、それぞれ最後まで正確に書いてください。
- 2.書き換え防止のため。消せるインクや鉛筆は使用できません。押印は必要ありません。
- 3.基本的には署名は自筆をお願いします。
(低年齢のお子さん、お手の不自由な方の場合は代筆で結構です。印刷やハンコでの記載は不可。)

太陽光パネルの大量廃棄にNO！ 太陽光パネルのリサイクル義務化を求めます

経済産業大臣 赤澤 亮正様
環境大臣 石原 宏高様

太陽光パネルは 100%リサイクル可能です。太陽光パネルの廃棄量は、2040 年頃には年間 40 万トン規模に達する可能性が指摘されており、早ければ、FIT 制度初期の買取期間が終わる 2030 年代前半には急増することが見込まれるため、既設分の対応を含めたリサイクルの義務化は急務の課題です。こうした背景もあり、環境省と経産省は審議会で検討を進め、2025 年の通常国会でリサイクル義務化の法制化を目指していました。また、今年 2 月に閣議決定されたばかりの第 7 次エネルギー基本計画でも、義務的リサイクルの検討を進める方針が示されています。

しかし、2025 年 8 月、いったん政府でまとめた方針でのリサイクル義務化を見直すとの発表がありました。理由は、自動車や家電などのリサイクル法では、使用者がリサイクル費用負担となっているところ今回の案では製造者負担となっていることや、太陽光パネルの埋め立て処分とリサイクル費用の差が現状では大きいことが挙げられています。

義務化されなければリサイクルは広がらず、リサイクル費用は高いまとなり、結果としてリサイクルされない悪循環が懸念されます。リサイクルが義務化され、確実にリサイクルが行われるようになることで、コストは安くなっていきます。

太陽光パネルの大量廃棄は、”起きるかもしれない”ではなく、”このままでは起きてしまう”事態です。太陽光パネルのリサイクル義務化を求めるおおぜいの市民の声を政府に届けましょう。

私たちが求めること

- ・太陽光パネルのリサイクル義務化を一刻も早く進めること
- ・太陽光パネルのリサイクルが一層進むよう、体制を整えること

氏名	都道府県	住所

【署名呼び掛け団体】
Climate Action Network Japan (CAN-Japan)
【署名〆切】 2026 年 1 月 30 日 (金)

【呼びかけ団体】 一般社団法人 生活クラブエネルギー事業連合